

「トップ・マネジメント」対策

工場や企業の発展、収益はトップマネジャー能力とリーダーシップで決まる！

解説：どの集団もリーダーの方針・力量・活動で未来が決まる現実があります。このため、次世代リーダーの方々に対し、人数と期間を限り、中期経営革新計画策定～実行への展開を目的に、マネジメント技術の実践を願う実務研修です。

最近の実施例：建材関連企業で2名研修、シェアが2位→1位、2年で収益は倍増、7年を見込んだ各種プロジェクトは2年で終了・体質を大きく変革

立憲君主より  
良き指揮者



- ③ あくなく活動を自ら展開
- ② 夢の実現へ
- ① 全員参画 目標達成

リーダーは未来をつくり示す人



【研修実施で進める要点】：企画・実行計画書の実践

- ① BS・PL解析～儲かる構造を策定する。
- ② キーパーソンを組織化し、目標達成へ向ける。  
(自己育成・寄与率・成果創出のための人材育成を同時化)
- ③ 重要技術改善に的確な技術指導

事前準備

- 1, 基本  
選ばれし人は教わる姿勢でなく自ら調査～研究した企画書を策定
- 2, 研修の人選～  
テーマ選定・独習  
企画書作成を研修前に願う。
- 3, 研修参画の目的  
自分の企画内容を産業界の基本・先端の取り組みを評価しながら見直し、具体化への充実のため

研修内容

- 【主要実施事項】
- 1, BS・PL・CF分析  
原価・キャッシュフォローで現状の活動を数値化～原価解析と共に、中期経営戦略を策定～審議
  - 2, 目標達成組織化  
・TP(総合目標達成)展開図の作成  
・人材：技術対策MAP策定  
・目標達成シミュレーション実施
  - 3, 重点技術の勉学  
・一流・異業種他社調査
- 【毎回、課題を定め実施】

企画書発表

文書化

経営会議で  
1人1企画発表会



承認後は  
実践展開へ